



## 語彙調査の結果について

子どもたちの学力の伸びの評価の一つとして、1月に実施しました語彙調査の結果を取りまとめましたので、保護者の皆様にその結果を別紙（個票）にてお知らせします。1月の語彙調査の結果と前年度1月（1年生は6月）からの伸びを記載しています。

語彙調査の結果の見方についてお伝えします。最初の数字は、その子の語彙が何歳何か月程度の語彙力かを表しています。「9-6」ならば、9歳6ヶ月程度ということになります。次の数字は、10を平均としたときのその子の語彙力を数値で表しています。「13」なら語彙力が高い、「8」ならば語彙力が少し低いということになります。伸びは月数で表しており、12ならば12か月分相当の語彙力が伸びたということです。12を超えると、1年分（12カ月分）以上の伸びがあったということになります。

本年度の全校児童の語彙力の伸びの平均月数は、15.5カ月でした。一般的な伸びより、3.5カ月分よく伸びた結果となり、本年度の取組に成果があったと評価しています。具体的には、授業の中で対話的な学習を重視してきたこと、タブレットの活用、読書活動の推進や子ども新聞の活用等によって知識が広がったと考えています。しかし、語彙力の伸びには個人差が大きいため、特に伸びの少なかった児童に対する支援が必要だと考えています。

また、語彙力は、あくまでも学ぶ力の基礎となるものであり、子どもたちに、未来を切り拓く力を育てるために、主体的・対話的に学ぶ姿を追求していきます。

### （語彙力を伸ばすために・・・家庭でできること）

- 1 語彙力を高めるために一番大切なことは、読書です。興味のある分野の本を読むことから始めましょう。時間のある小学生のうちに、読書の楽しさを知り、新しい言葉にたくさん触れてほしいと思います。高学年では子ども新聞を読むことも効果的です。
- 2 わからない言葉や漢字は、辞書・タブレット等で調べるようにしましょう。
- 3 家族で話をする心を心がけましょう。ことば遊びも効果的です。
- 4 人の話を聞く機会を多くしましょう。ニュースを見るのもいいです。
- 5 日記を書くこと、詩を書くこと、俳句・短歌づくりなどに取り組みましょう。



## 令和4年度 伊香具小学校複式学級の概要

本校は、少人数の学校であるため、複式学級編成の対象となります。『公立義務教育諸学校の学級編制及び教職員定数の標準に関する法律』によると、隣り合う2つの学年の人数の合計が16人以下は複式学級、ただし、1年を含む場合は、合計が8人以下は複式学級となります。本校では、3年生以上が複式学級の対象となり、3・4年、5・6年が複式学級編成となります。しかし、県や市から講師をいただくことで、主要教科は学年単独で学習し、教科担任制を取り入れ、体育や音楽等は2学年の合同学習を実施していくことを計画しています。少ない教職員ではありますが、それぞれの持ち味を發揮し、最大限の効果をあげるべく取り組んで参ります。ご理解とご協力を賜りますよう、よろしくお願いいたします。



### 令和4年度 学級編制計画

学年	1学年	2学年	3学年	4学年	5学年	6学年	全校児童
児童数	9	8	10	5	6	7	45
	市費講師等による 複式授業の解消			県費加配による 複式学級の解消			



# 開かれた学校づくりに向けて

## 一学校評価から見える本校の教育について③



### 地域アンケート集計結果

※4段階評価を100点満点に換算したもの

No.	アンケート内容	R3 12月	R2 12月	R元 12月
1	「自ら学び、心豊かにたくましく生きる伊香貝っ子の育成」がなされているか。	89	82	79
2	教育方針や教育活動をわかりやすく伝えているか。	85	82	79
3	特色ある教育活動を進めているか。	87	85	83
4	こどもの体力は向上しているか。	82	80	72
5	地域の歴史・自然・福祉施設や伝統文化などを大切にして、子どもに学ばせているか。	89	80	82
6	家庭や地域の方などに挨拶ができていますか。	79	73	76
7	学校の施設・設備は学習環境面でほぼ満足できているか。	76	70	78
8	登下校に対して、安全への配慮ができていますか。	84	85	84
9	自他の命を大切にする態度を育て、指導ができていますか。	82	79	76
10	けがや病気などへの学校の対応と指導はできていますか。	86	86	83
11	子どもは学校へ行くのを楽しみにしていますか。	83	81	86
12	縦割り活動は活発に行われているか。	87	88	87
13	子どもたちに自信をつけさせるような取り組みをしていますか。	83	78	81
14	一人ひとりの人権が尊重され、大切にされる教育活動を行っているか。	83	80	82
15	子どもたちは、授業が楽しくわかりやすいと言っているか。	81	79	77
16	子どもたちに基礎・基本の力はついているか。	80	80	79
17	子どもたちは、自分で進んで調べたり学習したりしているか。	73	68	69
18	子どもたちには家庭学習の習慣が身についているか。	78	77	73
19	教職員は熱意をもって子どもにわかりやすい授業を行っているか。	82	82	84
20	教職員は、豊かな心をもつ子どもを育てようとしているか。	86	82	83
21	教職員は子どもをよく理解してくれているか。	85	85	84
22	家庭学習に対する学校の指導や支援はできていますか。	80	80	78
23	教職員の接客、言葉遣い、電話での対応、服装などは教師として適切か。	85	88	87
24	保護者や地域の方々の声は、学校運営に十分反映されているか。	80	78	77
25	教職員は保護者や地域の方々と交流を深め、開かれた学校づくりを進めているか。	80	80	80
26	保護者や祖父母の参観授業の内容は適切であるか。	83	82	79
27	学校行事やPTA活動は、家庭や地域住民が参加しやすい行事になっているか。	82	80	76
28	学校だより（学校報・PTA広報・ブログ）や学級通信、事務連絡等は適切であるか。	87	82	84

### 地域アンケートからみた成果と課題



後期の学校評価アンケートは、地域の皆様（学校運営協議会、伊香貝子どもの活動支援会、図書ボランティア）にもご協力をお願いしております。アンケートから見えてくることは、地域の皆様の学校への信頼と見守りです。このコロナ禍で、学校行事が中止または縮小となり、ずいぶん地域の皆様との交流が少なくなりました。そんな中で、このように高い評価をいただき、学校への信頼と期待が伝わってまいります。本年度、図書ボランティアの皆様には、2学期にお話を実施していただきました。感染拡大予防にいつもご配慮いただきながら、「伊香貝の子のために」を第1に考えて本に関わる取組や校内の飾りつけをしてくださっています。支援会の皆様は、運動会前の除草作業をはじめ、この冬の大雪の際、通行困難となった山林の中の通学路の除雪にいち早く駆けつけていただきました。伊香貝の子どもたちの「学び」や「成長」を、間近で見てもらえる日がくることを願っております。教職員一同、地域の皆様の見守りと応援に日々、感謝申し上げます。本当にありがとうございます。